

権力を告発する！ No.23

ついに
最終弁論

許せるか この権力犯罪

学生に殴る蹴るの暴行を加える公安警察

国家権力・警察権力の濫用許さず、
国家賠償請求訴訟と
刑事告訴で反撃中



検索

全学連大会襲撃事件

絶対に許せない権力犯罪

全学連（全日本学生自治会総連合）は2016年9月1日・2日、定期全国大会を東京都中央区にて開催しました。全国の学生が集まり、いまの大学・教育、そして社会を変えていくための真剣な議論をする場です。

ところが、会場前には大勢の公安警察（戦前の拷問で悪名高い特高警察の後継）が参加者を威圧するように立ち並び、さらには参加する学生に殴る蹴るの暴行を加えたのです。暴行を受けた学生は、シャツを破られたり全治2週間から1ヶ月の怪我を負わされるなどしました。憲法も保障する集会の自由の公然たる破壊、紛れもない警察権力の横暴＝権力犯罪です。

国賠で反撃中！

全学連はこの横暴を許さず、公安刑事に対する刑事告訴ならびに公安刑事および国・都に対する国家賠償請求訴訟を起こし反撃してきました。刑事告訴は1年以上も塩漬けにされたあげく、公安関係の深い検察によって不当にも不起訴となりましたが、国家賠償請求訴訟は展望をもって継続されています。

国賠訴訟では、公安警察は参加者への暴力行為を「職務質問に伴うもの」と主張し、なかには「できれば逮捕したかった。違法じゃないと逮捕しちゃいけないんですか」（公安警察・西澤雄）と証言するなど、とんでもない彼らの実態が次々と明らかとなっています。

当時のトップ同士で弁論対決！

全学連



斎藤いくま



星隆夫



芝拓臣



公安視
察部
庁

改憲と一体の権力犯罪

政府に逆らう団体・人は徹底的に潰す。そのためなら権力の濫用も厭わない。そういう弾圧が「戦争する国」作りと一体で進んでいます。労働運動への弾圧では連帯労組関西地区生コン支部の正当な組合活動を「組織犯罪」などとして、労組破壊が行われています。学生運動への弾圧では、大学構内でただビラ配りをしただけで逮捕（建造物侵入）という信じられないようなことが相次いでいます。

改憲と一体の戦争国家化を打ち破る、労働者・学生・民衆の運動の一環として、権力犯罪を許さない運動への連帯をお願いします。



18年2月には、警視庁公安部が頑なに裁判所への提出を拒否する事件当日の映像の提出を求め、東京地裁の小野寺裁判長らが警視庁に立ち入った。裁判所が警察による証拠隠滅を防ぐために行ったこの一件は、朝日新聞・NHKをはじめ多くのメディアで報道された。

10/ 8

(木) 13時半

国家賠償請求訴訟 第16回口頭弁論

.....
東京地裁 429 号法廷
※傍聴券配布があるため、12時半正面入口集合

傍
聴
へ

全日本学生自治会総連合

Mail: zengakuren1948@gmail.jp Web: zengakuren.jp

裁判費用カンパ振込先：郵便振替

「00190-0-766112 全日本学生自治会総連合」

※よろしくお願いします！